

この世に生まれて死ぬまで、一度もお医者さんのお世話にならない人はめったにおられません。

お世話にならないに越したことはないのですが、人の身体はそんなに頑丈にはできていないようです。また、高齢化社会においては、薬や医療、介護は、常に身近なものになっていきます。

奈良県の医療は、16年前の妊婦搬送事案が起きた頃は、課題が多い状況でしたが、県立系医療施設の整備を重ね、今では全国的にも大変秀れた医療を提供できるようになってきました。この間の進歩を思い起こすと、感慨深いものがあります。

救急医療が良くなるとともに、がん医療、血管系疾患の治療などの高度医療も進化してきています。さらに、良くなる医療を基盤に、こどもの頃から健康に配慮した生活習慣が地域に行き渡るようになり、健康寿命日本一を目標にして、奈良県が楽しく暮らしやすい地域になればと願っています。



奈良県知事

荒井正吾

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



学ぶ・生きる・希望

空の色や周りの景色が昨日までとは違って「美しい」と思える時ってどんな時でしょうか。

「夕やけを見てもあまりうつくしいと思はなかったけれど、じをおぼえてほんとうにうつくしいと思うようになりました」とは、今から50年前に、四国のある識字学級の生徒さんが書かれた手紙の一節です。

識字学級では、子どもの頃にさまざまな理由で学校に行けず、文字の読み書きを学ぶ機会を失った大人の方が、文字を学ぶために学習を続けておられます。生活情報を得るためにも、また自分の気持ちや考えを伝え、人とつながるためにも、文字はとても大切です。この手紙の中では、道の看板に習った文字を見つけた

時、病院の受付で初めて自分で書いた名前を呼んでもらった時などのうれしい気持ちが繰り返し書かれています。そして、手紙の最後は「十年ながいきをしたいと思います」という文で締められています。

一日を終えて、明日の新たな学びへの希望が「夕やけがうつくしい」の言葉からにじみ出てくるように感じます。そして、歳を重ねられた学級生さんの「学びたい」「生きたい」というメッセージに勇気や希望をもらっているような気がして、私は今日も夕焼けを眺めようと思います。

今月のポスター



御所市立名柄小学校2年
まるやま やまと
丸山 大和さん

標語

よく知れば
はじめてわかる
いいところ

香芝市立真美ヶ丘東小学校5年
あらかき みさき
荒木 美沙希さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

アンケート&プレゼント

県公式スマホアプリ「ナラプラス」などで

「県民だより奈良」を読み、電子書籍版の感想をe古都ならで回答された方の中から抽選で10名にプレゼントが当たる!

2月号のプレゼント

たっぷりアーモンドの
うす焼きクッキー

障害のある方たちが「おいしくなあれ」と素直に想いを込めて作るお菓子です。カリカリ食感がくせになる、うす焼アーモンド洋菓子です。

※ご提供いただく個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用させていただきます。※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。※商品は特定非営利活動法人 あゆみの家から直接発送します。

【商品のお問い合わせ先】
特定非営利活動法人 あゆみの家
☎0745-75-2707



アンケート応募方法

1 ナラプラスをダウンロード

ダウンロードはこちらから▼



Android版



iOS版

締め切りは
2月28日(火)
※2月1日以降応募
できません



2 ナラプラスで下部メニューボタンのeブックを選択し、電子書籍版「県民だより奈良2023年2月号」を読む

3 e古都なら電子申請サービスにアクセスし、アンケートを回答

※パソコンやタブレットでも応募可。詳しくは「奈良県電子申請サービス」で検索。



※「県民だより奈良」への感想やご意見は引き続きハガキでも受け付けています。